

# 取り付けをお考えの方に

## ■ 対象となる窓に取り付けできるか確認が必要です

## ■ 取り付けに必要なもの

- ・作業用手袋・作業用ゴーグル
- ・メジャー（窓枠内側寸法計測の為）
- ・鉛筆、ボールペン、マジックなど（取り付け位置、カット場所の印）
- ・定規（ハモニカーボカット用）※無ければ真直ぐな木材、アルミなどで代用
- ・刃が固定できるカッター（中空ポリカのカット、フレーム・レールの切欠け）  
※面材にハモニカーボ以外を使用する場合はそれに適応したもの
- ・両面テープ（エコな簡易内窓キット S、M、L、LL には入っています）
- ・金鋸（エコな簡易内窓キット S、M、L、LL には入っています）
- ・ヤスリ（バリ取り用）
- ・ゴムハンマー（面材とフレームをセットする時にあれば、とても便利）

### 上レール取付けで補強したい場合

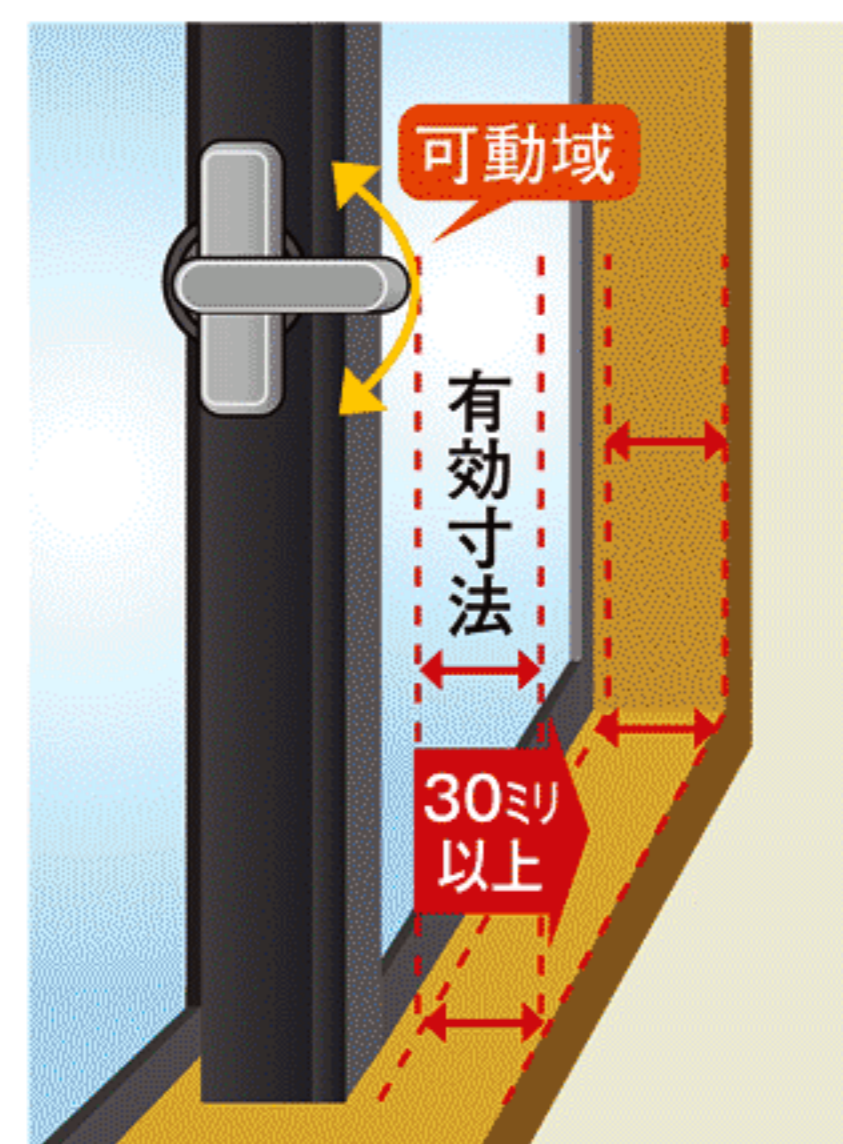
- ・タッピングねじ（エコな簡易内窓キット S、M、L、LL には入っています）
- ・プラスドライバー（タッピングねじの止めに使用）

## ■ 取り付け手順！

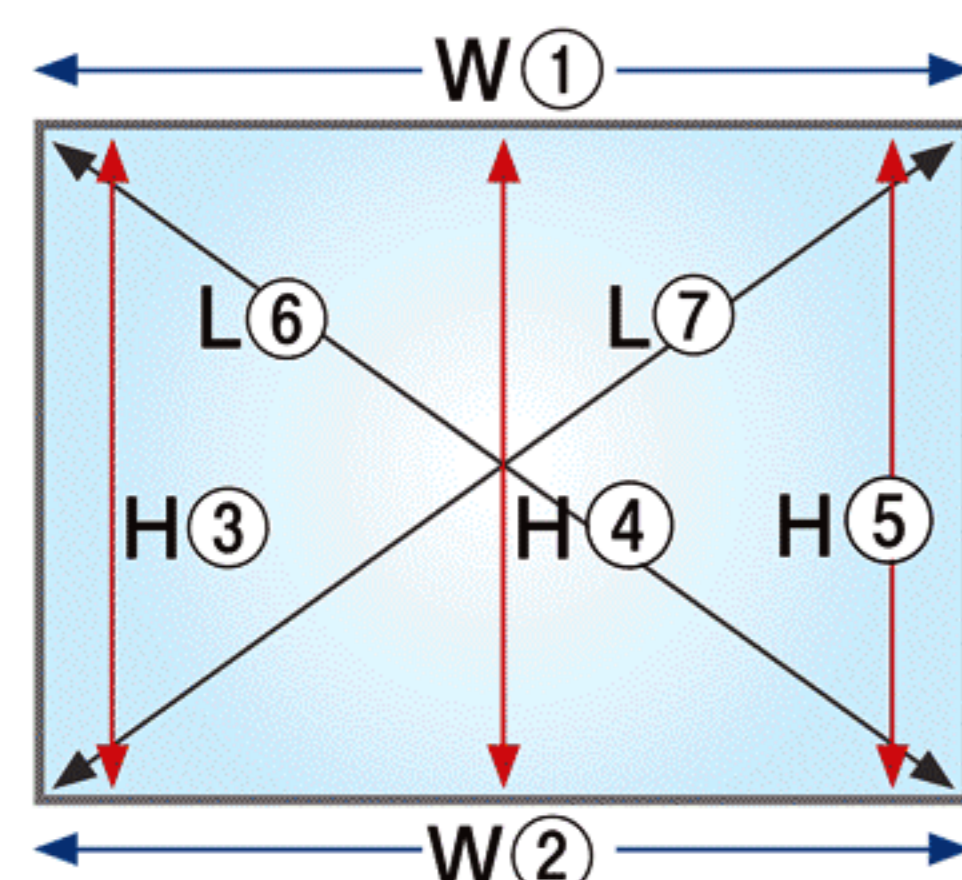
### 1 取り付け場所の確認と採寸

#### 1-1. レールの取付け位置を決める

- クレセント錠の持ち手部分の最突端部が当たらない位置
- 窓枠はホコリ・汚れを取り除く
- 各レールの取付け位置に印をする



#### 1-2. 内窓の寸法を計測し表に記入 窓枠の歪みをチェック



- 横寸 W の ① ②
- 縦寸 H の ③ ④ ⑤
- 斜め L の ⑥ ⑦ の寸法を測ります。

↓ 測った寸法を記入しておきます。

大きい窓で測りにくい場合は道糸などで代用できます

記入はミリ単位で

斜	L⑥	L⑦	L⑥-L⑦=
	ミリ	ミリ	ミリ

L⑥、L⑦の差が5ミリ以上ある場合は、窓枠が歪んでいるので補正が必要です。

#### 窓枠の内寸の幅 (W) と高さ (H) を計測・記入

幅	W①	W②	⑧ ①～②の最長
	ミリ	ミリ	
高	H③	H④	H⑤
	ミリ	ミリ	ミリ
			⑨ ③～⑤の最短
			ミリ

## 2 レールの加工と取付け

### 2-1. 各レールのカットと取付け

- カット寸法は次の通り

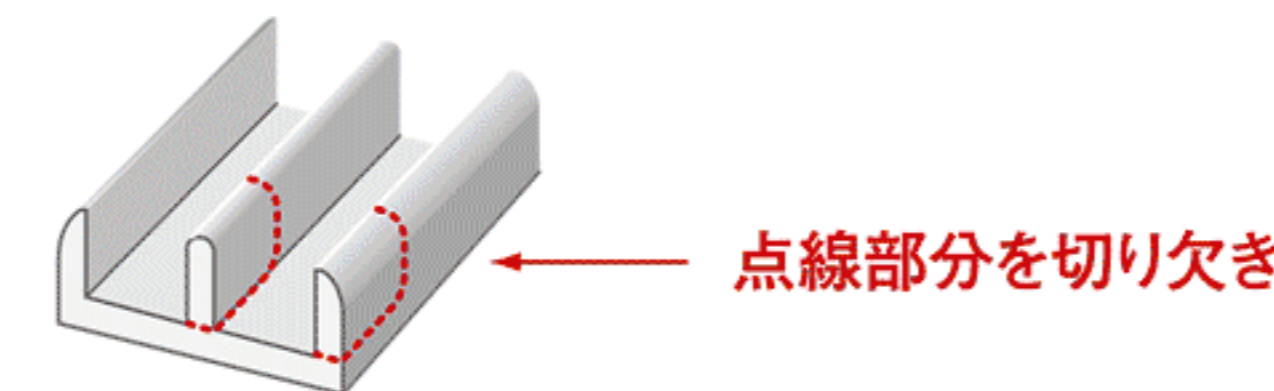
※プラスチックは温度変化により伸縮するため

窓辺の温度が40度を超える場合は計測値より小さくすること(目安: 20℃の温度変化で1メートル当たり約1ミリの伸び縮みがあります。)

上レールW①(	ミリ
下レールW②(	ミリ

横カバー左H③	ミリ	-25ミリ=	(	ミリ
横カバー右H⑤	ミリ	-25ミリ=	(	ミリ

- 下レールはホコリの排出用の一部を切り欠きする

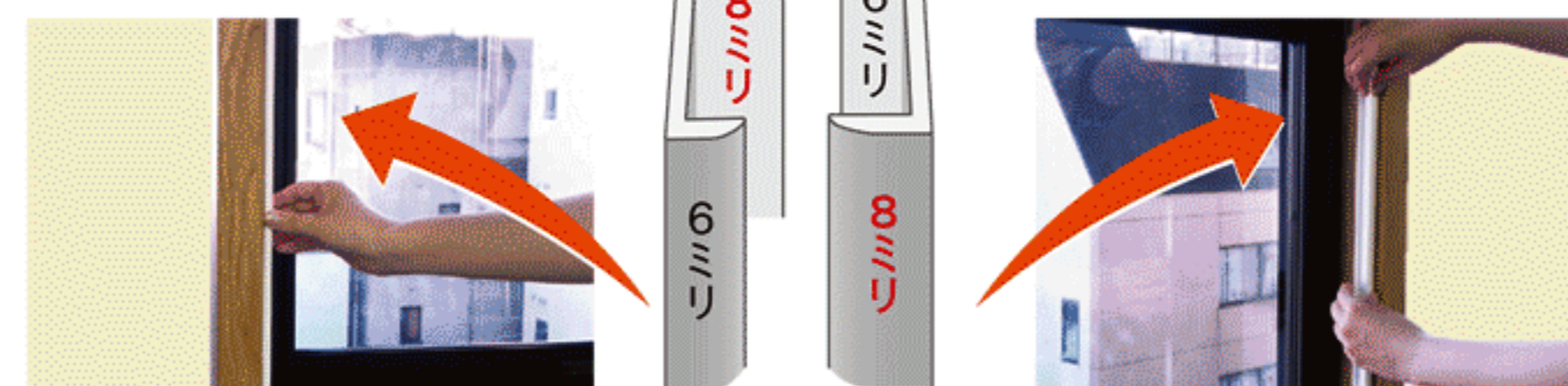


### 2-2. カットした各レールに両面テープを貼り付ける

### 2-3. 上レール → 下レール → 横カバーの順で取り付ける

※上レールに脱落の心配がある場合はタッピングねじなどで止めます。(キット品には付属しています。)

### 2-4. 横カバーは向きに注意して貼り付ける

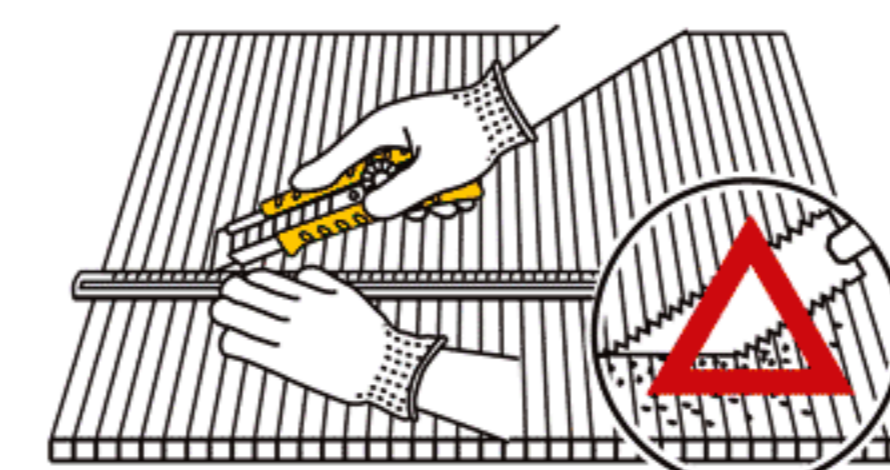


## 3 窓面の加工と取付け確認-1

### 3-1. 面材をまず1枚、カットする

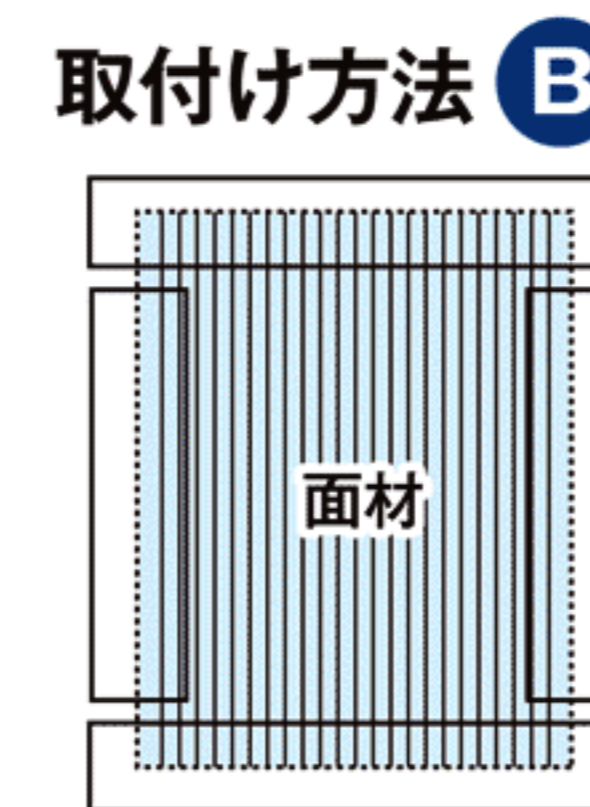
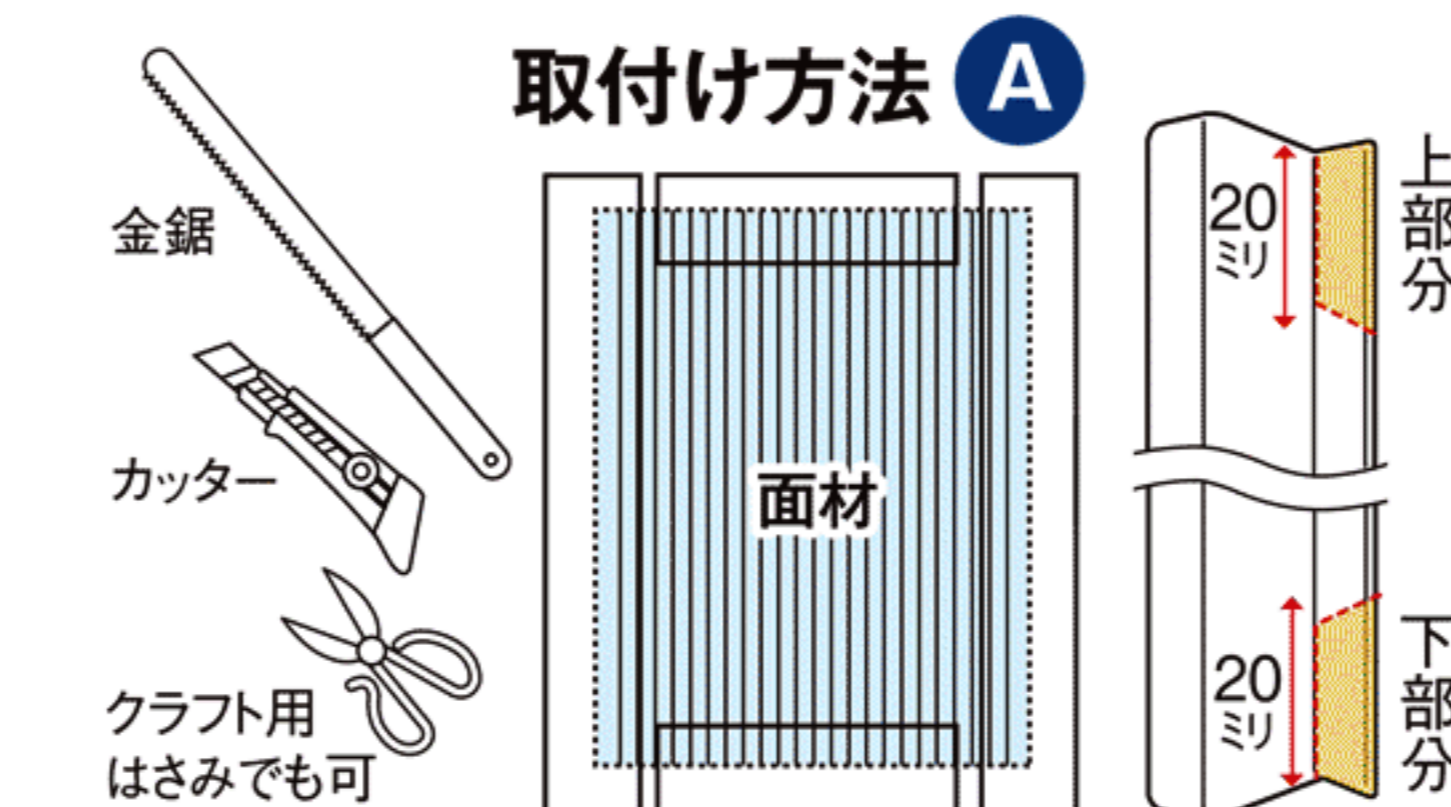
幅⑧	ミリ	÷2-3ミリ=X	(	ミリ
高さ⑨	ミリ	-23ミリ=Y	(	ミリ

※切断には刃を固定できるカッターが最適です。鋸を使うと中空の中に切り粉が入るため



### 3-2. フレームをカットする

フレームの組み方を2種類から選択



この場合はレールにセットする時に取手部分が当たりますのでフレームの上下とも20ミリほど切り欠きする必要があります。カッターや金鋸などで加工します。カッターを使用する場合は鉛筆を削るように少しずつ削ぎ落とすように。

#### 「フレーム」のカット寸法

$$X(\text{ミリ}) - 34\text{ミリ} = (\text{ミリ})$$

#### 「フレーム取手付き」のカット寸法

$$Y(\text{ミリ}) + 12\text{ミリ} = (\text{ミリ})$$

この場合はAパターンのように切り欠きする工程が無く早く仕上げる事が出来ます。ただし、面材に対して直角に断面が入る為、少しの隙間でも目立ってしまいます。

#### 「フレーム」のカット寸法

$$X(\text{ミリ}) + 12\text{ミリ} = (\text{ミリ})$$

#### 「フレーム取手付き」のカット寸法

$$Y(\text{ミリ}) - 34\text{ミリ} = (\text{ミリ})$$

## 3-3. 面材とフレームをセットする

最初に作成する窓面は左奥側のため取手部分の向きに注意する(左側は室内方向に取手部分を向け、右側は屋外方向に取手部分が向くように)

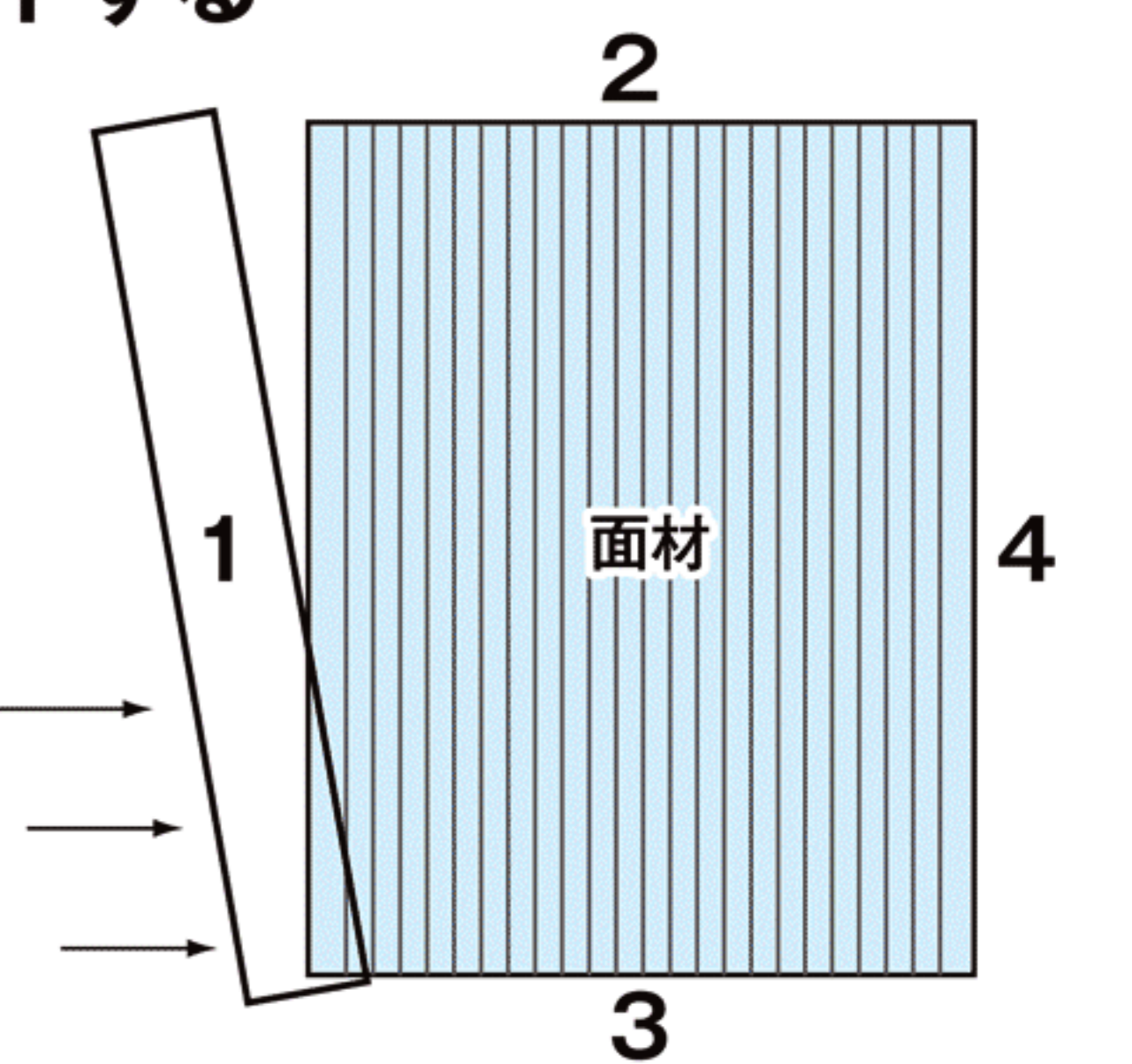
面材とフレームのセットは縦目の辺から一方の端をしっかりと奥まで食込ませ順に押し込んでいくようにする

微調整は軽く叩きながら行う

(硬いもので強く叩くと割れることがあります。特に寒い時期の作業時にはご注意ください。ゴムハンマーがあれば最適です。)

### 1. 縦目 → 2. 横目 → 3. 横目 → 4. 縦目の順にセットする

奥側のレールにセットし開閉状態や隙間の有無をチェック  
→問題が無ければ次の工程へ進む



## 4 窓面の加工と取付け確認-2

### 3 の通りもう1枚を作成する

注: この窓面は右手前側のため取手部分の向きは、両方とも手前側向きにする  
こちらの窓も開閉状態や隙間などをチェック

## 5 完成



### 【完成後に】

- 隙間が出来てしまった場合は、市販の隙間テープやモヘヤテープで補正してください。

## 【メンテナンス】

- プラスチックは静電気を帯びやすくホコリを吸い寄せてしまいます。静電気を除去しホコリを付き難くする当社商品の「ポリケア」をご使用ください。ひどい汚れには中性洗剤を薄めたものを柔らかい布につけて拭いてください。



DIYで工夫して  
快適な生活をお送りください。

⚠ カッターやのこぎりを使用する時はケガに十分注意してください。刃先を身体の方に向けないように加工してください。